

大きさにびっくり！酒巻1号墳出土の馬形埴輪

郷土博物館の「古代の行田」展示室に、大きな馬形埴輪が加わりました。酒巻1号墳出土の馬形埴輪で、長らく県立さきたま史跡の博物館展示室に貸し出されていた資料です。



酒巻1号墳出土の馬形埴輪
(行田市郷土博物館保管)

頭の部分までの高さは約130センチメートル。馬の埴輪としてはかなり大型です。酒巻1号墳は、酒巻古墳群に含まれる全長46メートルの前方後円墳で、昭和44年（1987）に調査が行われました。2基の石室が見つかり、出土した埴輪や副葬品などから6世紀後半に造られ、7世紀半ばに追葬が行われたのではないかと考えられています。この馬形埴輪は、6世紀後半、築造当時、据えられたものではないかと考えられ、前方部北側付近から出土しました。

馬形埴輪は、古墳から出土する埴輪の中でもよく知られていますが、馬という生物がもともと日本に生息していなかったというのはご存じでしょうか。馬は、人間にとって身近な動物の一つですが、家畜として飼育されるようになったのは牛やヤギよりも遅いと考えられています。諸説がありますが、おそらく紀元前4千〜3千年ごろに中央ユーラシア付近で始まったと考えられています。日本には、中国大陸から朝鮮半島を経て、4世紀後半から末ごろにかけて馬具と共にもたらされました。古墳時代の馬は、競馬や馬術競技などで目にするサラブレッドよりもはるかに小柄で、体高（胸までの高さ）は130センチメートル程、現在の日本在来馬へとつながります。

さて、酒巻1号墳出土の馬形埴輪を見てみると、遺っている部分は少ないのですが、たてがみ・尾をきりりと結い上げ、しっかりと馬装していることが分かります。おそらく、乗用馬として被葬者の生前の威容を堂々と示していたのでしょう。「馬を用いることができる」立場であるという事は、当時の身分を示す上で重要だったのだと考えられます。
(郷土博物館 浅見貴子)

はじめまして



令和2年3月生まれのお子さんを募集します

- 1月4日(月)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、2月2日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和2年 1月生まれのおともだち



江森 いちか
令和2年1月8日生まれ
父・寛文さん 母・恵美さん
「我が家のアイドル♡
元気に育ってね」



大谷 のあ
乃蒼ちゃん(白川戸)
令和2年1月9日生まれ
父・彰吾さん 母・悠理佳さん
「うちの怪獣さん♡
沢山遊ぼうね」



新井 ゆづし
勇志ちゃん(谷郷)
令和2年1月17日生まれ
父・雄一さん 母・ひとみさん
「まいにちしあわせを
ありがとう♡だいすき♡」



関口 そうた
創太ちゃん(持田)
令和2年1月21日生まれ
父・祐右さん 母・弓美さん
「いつも笑顔をありがとう!
大好きだよ♡」



村田 まりか
真莉花ちゃん(長野)
令和2年1月12日生まれ
父・雅弘さん 母・あゆみさん
「元気に健やかに
育って貰いたい」



渋澤 たくと
拓隼ちゃん(利田)
令和2年1月19日生まれ
父・純一さん 母・裕妃江さん
「お兄ちゃんと一緒に
たくさん思い出つくりようね」

今月の表紙

県立進修館高等学校書道部は、市内のイベントなどでパフォーマンス書道を披露し、また数々の書道展で輝かしい成績を収めています。今月の表紙は、作品のとおり文字に希望をのせて、「迎春」と新年のあいさつを力強く書いていただきました。また、3ページに書道部員7人の新年の抱負を表した作品も掲載していますので、ぜひご覧ください。



目指せ!友だち登録10,000人!
(現在4,100人)

行田市公式LINEの
友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい
植物油インキ

市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています